

液体窒素の科学実験

愛教大生 鷺塚小で特別授業

マイナス一九六度の液体窒素を使った科学実験の特別授業が、碧南市の鷺塚小学校であった。愛知教育大(刈谷市)が学生を講師に派遣する地域貢献事業「訪問科学実験」で、四年生の約百二十人が科学の不思議の一端に触れた。

訪問科学実験は小中学校などが対象で、教師を目指す学生の有志が出向く。学生に鷺塚

小の卒業生がいた縁で今回、同小で行うことになった。白衣姿の学生らが液体窒素の温度を計測したり、ゴムボールやゴム風船などを液体窒素に浸して形や硬さが変わる様子を見せた。煙を上げて激しく気化する液体窒素を前に児童らは不思議そうな表情で観察していた。

丸山真奈さん(18)は「液体窒素で硬くなっ

たゴムボールを落とすと粉々に割れたのがびっくりした」と話していた。植物の葉を化学処理で葉脈だけにしおりを作る実験もした。(片山健生)



液体窒素に浸したゴム風船を観察する児童たち＝碧南市の鷺塚小で